



2022年 1月19日  
第120号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 一部管理者や社友会メンバーが言っている「会社側」の候補者が過半数代表者になったらどうなるでしょうか？



とある職場での現場長と社員のやりとり

社員：出勤前に社員が職場内の除菌活動を行っていますが、超勤ついていますか？

現場長：どうだろう。自主的にやっているんじゃない？みんなが使っている休憩所だとか拭くのは仕事じゃなきゃいけないのかな。やりたいと思って自主的にやる分だったら、私はいいのかなと。

社員：自主的に社員が発意をもってこれが必要と除菌活動をやることは良いと思いますが、それに対して会社はちゃんと労働時間として超勤をつけないと、コンプライアンス違反になると思うのですが。

現場長：そういうのも含めて意識は必要だよ。どうなんだろう。私は勤務の中ででもいいと思うし、勤務外にそれをやるとはいけないとも言わないし。それを仕事として受け止めてほしくないって思いもある人もいるわけじゃん。

社員：仕事として受け止めてほしくない？仕事なんですよ。本人の気持ちの問題ではないと思います。

現場長：仕事としてって、超勤って会社の指示行為なんだよな。

社員：そうですね。だったら今やっている除菌活動に対して指示をした方が良いと思います。社員に引き続きやってくださいとするのか、それは超勤対応できないのでやめてください、勤務時間内でやってくださいとするのか。

現場長：だって仕事前にやってることでしょ。問題ないんじゃない。

社員：だって会社の設備で会社の道具を使って、もし勝手にやってるんだとしたら、それは区長が管理しなきゃいけないことじゃないですか。

というようなやりとりが20分ほど続きました。このやりとりのあと、除菌活動を行っていた社員には会社より、「勤務時間外で除菌活動をやらないでください」と指示がされました。



やりとりの途中では、

現場長：逆に超勤に関してどうなってるんだって聞いてくるより他にやることないのかよ。

社員：他にやること。私、いま自分の仕事が終わって退勤してきたんですよ。だからその除菌活動は、超勤じゃないかってところを問題かなと思ってきたんですよ。

というコンプライアンス違反を不安に思い確認しに来た社員に対して、現場長がパワハラともとれる発言をしています。社員の取り組みに超勤がついているかも把握していない、業務か業務でないかは本人の気持ちの問題としてしまう会社。その「会社側」の候補者はあなたの命・生活を守ってくれますか？

**過半数代表者は「会社側」の候補者ではダメだ！**  
**「働く側」で社員の命と生活を守るために意見する候補者に投票しよう！**